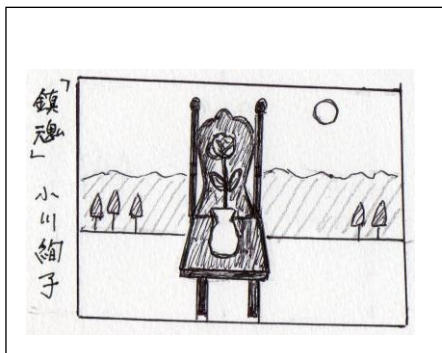


作品制作現況

小川 絢子

本展に向け題材探し

京都支部の方達と、神戸にスケッチに行くことになりました。山と海が接近していて、エキゾチックで魅力的な絵になる街です。青春時代にちよつとした思い出もあり行く気になりました。昔、フアッションは、横浜、京都、神戸等と言われていました。その頃、繊維会社勤めていた私に、上司から新しく開発したシームレスの靴下(後ろに線がない靴下)を



「鎮魂」 小川 絢子

商品化しようと思つている、売れるかどうか履心地を試してほしいと言われ、早速シームレスの靴下をはいて、トアロードの街を闊歩した第一号です。次の日、早速上司に報告、「これ流行ます、OLを中心に伸びてゆくこと間違いありません」と、偉そうに言った、そんな思い出が甦り、神戸を描くことが嬉しくなりました。まず神戸のハーバーランドに集合して、昼食にバイキングを楽しみ、外の岸壁には白い船体の「ルミナス神戸」が停泊中で、対岸のポートタワー、ホテルオークラ、白い半円形のオリエンタルホテル等、題材に事欠けることはありません、皆めいめにスツチにかかりました。

海上からの景色も見たいと、四十五分間のクルージングを体験、六甲や摩耶山の新緑の山々に、街のビル群が映え、大小の造船所のドックには、船も見え神戸港の大きさを感ぜました。心地よいエンジンの音に、のんびりコーヒー片手にあれこれ考え、やる気満々な船の中でした。

ところが、家に帰って構図を考えると、風景画の難しさに、はたと行き詰まり悩んだ末、断念することになりました。

楽しかった思い出だけが残りました。さてどうするか、自分の心に向きあうと、東日本大震災という未曾有の災害と、阪神淡路大震災の記憶とが重なり、早く復興してもらいたい気持ちと祈りを込めて、「鎮魂」の心を表現したいと考えるようになりまし

た。まだ地塗り段階で、頭の中をぐるぐる回っています。同封のカットのように、主のない黒いイスと白バラで、現わそうと思つています。技術と能力は別物なので、どうなりますか頑張るのみです。 八月記

広島支部の五人展 前原専二

去る六月二十八日と七月三日まで府中市内の備後芸術の館「来夢来人」一階のメイン会場で広島支部の五人展を開催した。日本画、洋画、水彩画、墨彩画、木竹工芸と多彩な作品二十二点を展示、大勢の入場者を得て成功裏に終了した。地方紙ASA通信の一面に大きく掲載されました。

ASA 2011年 7月1日(金) vol.2 No.420

新日本美術協会5人展 来夢来人

門田善人さん (86) は、平和の筆の輪と原画、約10数年前に新日本美術協会に入会し、水彩画、墨彩画、木竹工芸などに取り組んできた。祈りを込めた「鎮魂」の心を表現したいと考えるようになりまし

石原 修さん優秀賞受賞  
第二十四回日本の自然を描く展にて自由部門 優秀賞を受賞しました。(上野の森美術館主催)



水彩 F8

10月以降原稿の送り先は下記いずれでも自由ですがなるべく身近な支局へお願いします

編集本部(事務局直轄) 〒350-0824 埼玉県川口市石原町 2-53-6 小高峯夫  
TEL/FAX 049-224-0886 携帯 09078313149  
E:mail m-odaka@pop.kcv-net.ne.jp

京都編集支局  
住所: 〒613-0032 京都府久世郡久御山町栄 2-1-77  
TEL: 0774-43-9424 四方公子  
E-mail: kimiko-shikata@kkd.biglobe.ne.jp

広島編集支局  
住所: 〒720-1131 広島県福山市駅家町万能倉 98-6  
TEL: 084-976-1405 藤原清二  
E mail: i-boom@ms13.megaegg.ne.jp

「編集部より」

先号でお知らせしましたが、編集のシステムを少し変更したいと思ひます。理由は、全国的に散在する、新日美会員の活動状況や声、トクダネ情報が集め切っていないのではという思いがあります。アンテナの精度を高くして、質のいい情報を広く集め共有したいと考えます。そのために編集部を本部(事務局直轄)だけでなく、いくつかの編集支局を設け本部とインターネットで結ぶという構想です。従って、原稿の投稿は本部だけでなく身近の編集支局へ、ハガキや手紙などで投稿していただければ、インターネットで本部と素早く共有できるようになります。先号会報でインターネット編集者を募集しましたが、反応がありませんでしたので、私から僭越ながら何箇所かご協力指名願いをさせて頂きました。第一号として、大関西圏を掌握している京都支部におられる、四方さんに、また広島周辺圏支局として前原広島支部長から藤原清二さんを推薦していただき、承諾を得ました。他に地域的に網羅する意味で香川、四国圏に支局を模索中です。他に支局をやってみたいと思う方がおれば、メール連絡ください。地域は問いません。支局の役割は、会報の記事になりそうな情報、または完成した原稿を本部へどんどん送信することです。記事になりそうな情報だけでも本部へ知らせてもらえば、そこから記事になることが多いのです。こうなると原稿があふれる事が考えられますが、此の選択は本部に任せていただきます。しかし、そんなに簡単に原稿が集まるものではありません。地道な努力が必要です。本部の役割として投稿された原稿は出来る限り全支局に分かるようにします。尚、原稿の投稿は支局、本部どちらへでも自由とします。

会報は発行時期によって、全体の構成内容が変わります。

今号の「編集の構成」はおおむね下記のとおりです。

- 1 頁 会長、事務局長、委員会の記事、トピックスなど
- 2 頁 この人に是非書いてもらいたい記事、2~3 名位(編集部希望)
- 3 頁 会員の自由投稿記事、支部活動、会の細々した連絡事項
- 4 頁 事業部 スケッチ実施と予定、支部活動、会員自由投稿記事。